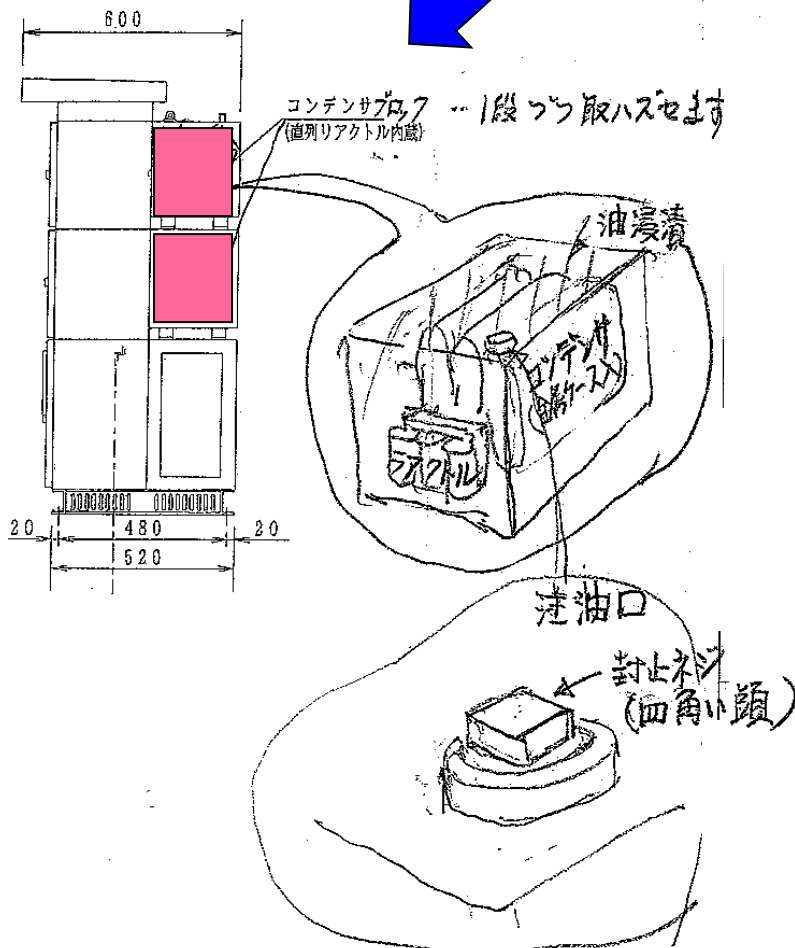
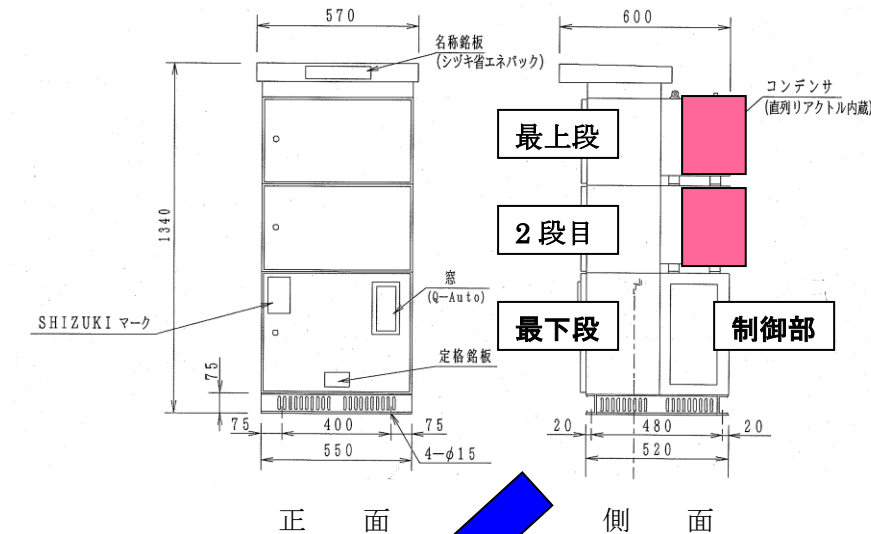


LHT 形 省エネパック（サンプル例：LHT50D2）のコンデンサ部の採油方法

<撤去、廃棄に伴う微量 PCB 確認分析のための採油方法>

- * **採油作業を行う前に**、LHT 形省エネパックを電気回路から切り離して、通電されていない状態にしてから、検電器で無電圧状態を確認して下さい。

下記図の 部（コンデンサユニットボックス）に絶縁油が入っております。



注意事項)

コンデンサには、電荷が充電されていますので、回路から遮断後、検電器で放電を確認した後、接地線によって各相を接地・短絡して下さい。

<LHT50D2 の外形>

形式、定格により左記図のボックスの段数が異なります。

当該製品構造は、左記の図に示す 3 段構造になっており、最下段は制御部で絶縁油は入っておりません。
2 段、最上段のコンデンサブロック部の筐体に、コンデンサとリアクトル（コイル）が組み込まれ、冷却用に鉱物油を充填して密封構造になっています。内蔵のコンデンサは固体含浸構造ですので、コンデンサユニットには鉱物油は使用していません。
微量 PCB でご確認が必要なのは、冷却用に使用のコンデンサブロック部の筐体に充填している鉱物油になります。

<採油方法>

コンデンサブロックの上面の隅に、注油口がネジ封止（ガス管のめくら封止と同構造）されています。
この封止ネジをスパナ、モンキー等ではずして頂ければ、スポイドまたはガラス管で採油が可能です。
再封止はネジにシールテープ（ニトロン No.95）を巻きつけてねじ込む。

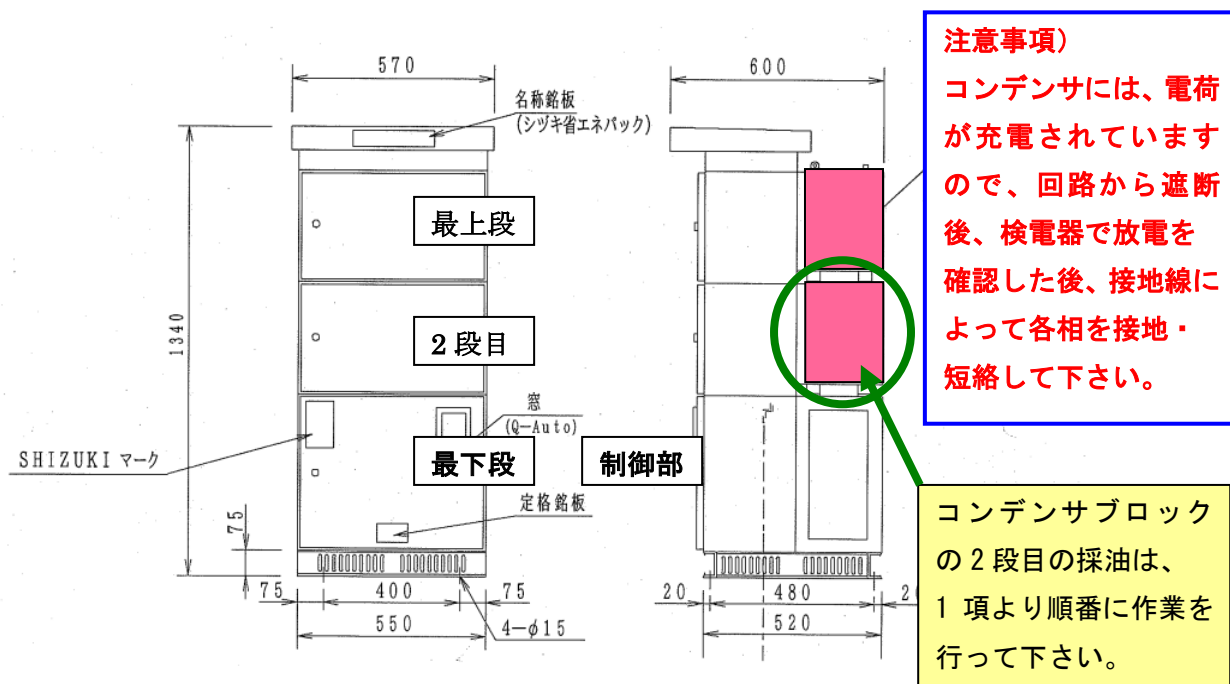
採油の量は、分析機関とご相談願います。

微量 PCB の分析機関につきましては、日本電気工業会（JEMA）の HP をご参考願います。

< http://www.jema-net.or.jp/Japanese/jyuden/p_6-2.htm >

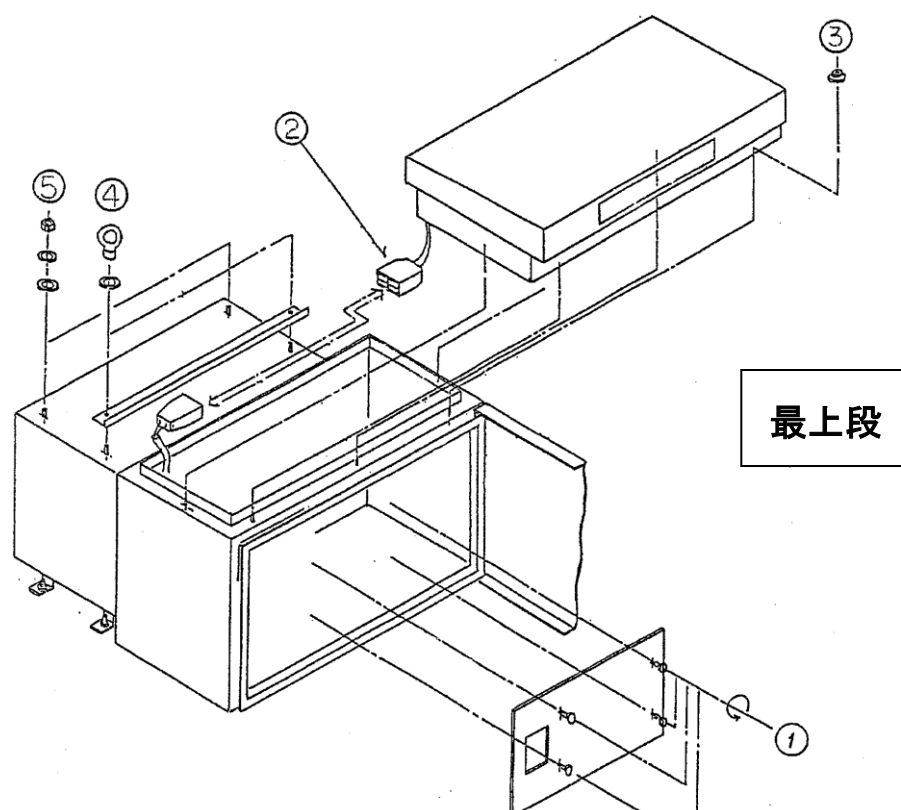
<コンデンサブロック部の分離方法>

* 電気回路から切り離して、通電されていない状態にしてから、検電器で無電圧状態を確認して下さい。



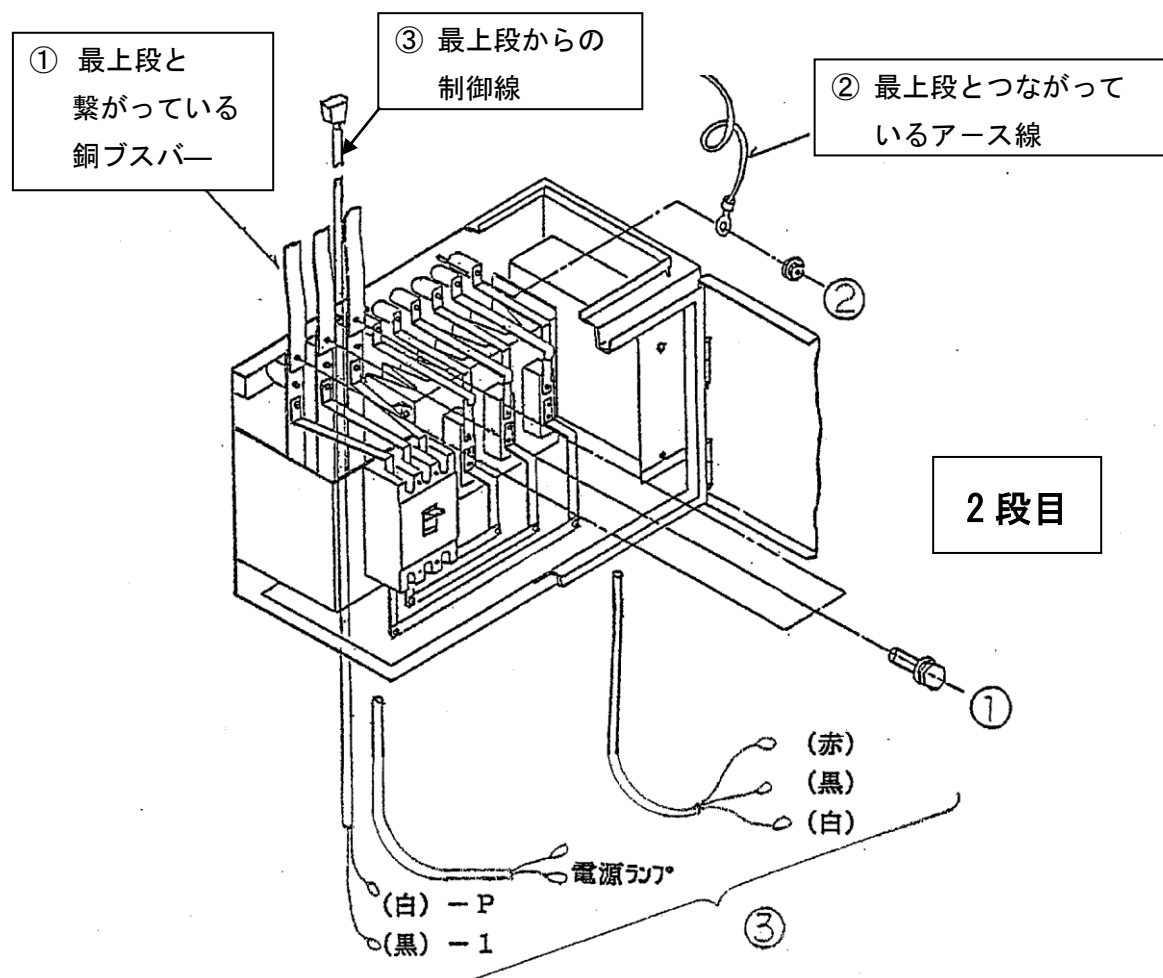
1. <屋根ユニットを外す。>

- ① 最上段のBOXの扉を開きアクリルカバーを外す。
- ② 上部のファンのコネクターを外す。
・・・採油すると製品として使用できるためニッパ等で電線を切断していただいても可。
- ③ 屋根ユニットを止めているM6ナット（5箇所）をソケットレンチ（ソケット 6.3mm）で外し、屋根ユニットを取り去る。



2. <結線を外す。>

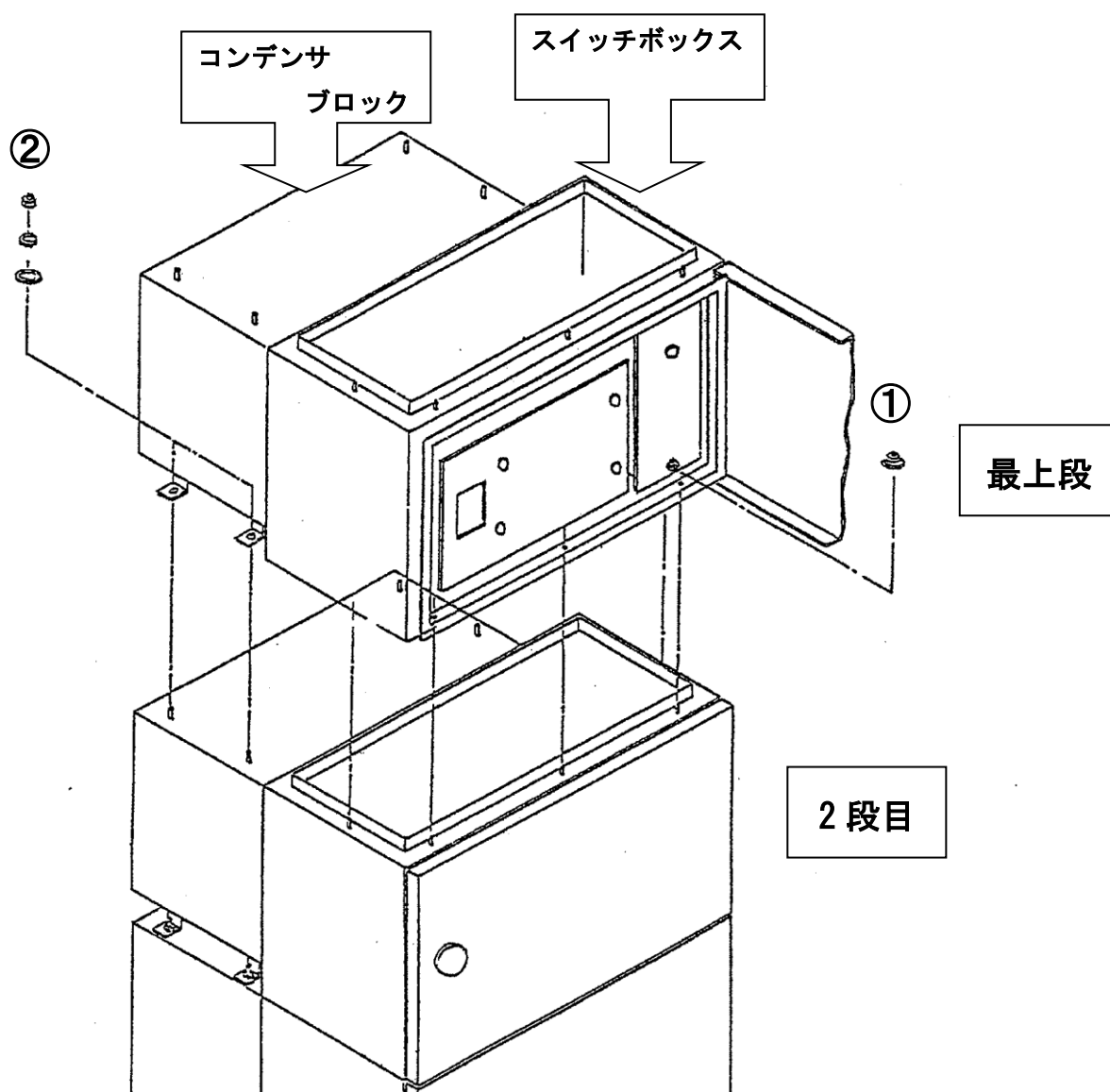
- ① 主回路の銅ブスバーと2段目の銅ブスバーの接続のM10 ボルトを外す。
- ② アース線を2段目ボックスの取り付けネジ（M6）を外す、または切断する。
- ③ 最上段からの制御線を全て切断する、または制御部の端子台の接続部を外して、制御線の固定部を全て外す。 <廃棄が前提であれば、配線を切断しても可>



3. <最上段部を外す。>

- ① スイッチボックスの M6 ナット（5 箇所）を外す。
- ② コンデンサブロックの取り付け脚（4 箇所）の M12 ナットを外す。

* 最上段のユニット（コンデンサブロック+スイッチボックス）を吊り上げれば最上段ユニットが外れます。



最上段ユニットを外すと、2 段目のユニットのコンデンサブロックの採油が可能です。

<採油方法は、最上段のコンデンサブロックと同構造の為、同じ採油方法です。>